



こめづくり もりづくり ひとつくり

山村塾通信



田んぼや山で家族と働く

田んぼに水が張られ、あちこちで田植えがはじまりました。黒木町笠原ではお茶農家さんが多いので、5月前半の一番茶と6月中旬の二番茶収穫の間を縫っての田植え作業となります。かつての農村では、小学校が休みになる「田植え休み」なるものがあったそうです（黒木町や星野村では「お茶摘み休み」があった）。今のように機械がなく、手作業ですべてやっていたので、田植えも茶摘みも人の手が必要。たとえ子供でも大切な労働力だったわけです。戦後の農村は急速に機械化が進み、農家の仕事が変わってきました。便利で快適で儲かるようになった部分は良いところですが、昔のように子供たちが田んぼや山で働く姿はすっかりと無くなりました。

山村塾の稲作コース、山林コースでは、家族で参加することをお勧めしています。「子供たちに田んぼ体験をさせたい」というのが多くの方の参加動機だと思いますが、山村塾としては、子供が体験するだけでなく、家族で参加し、一緒に汗を流して働くことが、子供たちにとっては一番楽しい時間で、思い出に残ると考えています。子供たちは仕事に飽きてさぼったり、休んだり、仕事そっちのけでカエルやサワガニを追いかけるかもしれないが、大人たちが働いている姿はきちんと見ています。そして山村塾には家族連れだけでなく、子育てがひと段落した方や仕事をリタイアされた方なども多く参加いただいています。そういった方々のおかげで、「山村塾に来ると、親以外のだれかが子供を見てくれる。」といったつながりのある活動の場がつくられています。子供だけでなく家族で、家族だけでなくみんなで働く、時間を過ごす。田んぼや山の活動には、そういった人と人がつながる魅力があるように感じます。

受入農家を核に、週末は親戚一同で実家の農家に集まり、農作業や山仕事、食事をして語り合うというような場を皆さんと一緒につくっていかれたらと考えています。これから暑くなり、田んぼも山も忙しい季節になります。皆さんのご参加をおまちしております！一緒に働きましょう！！（小森耕太）



みんなで働く、稲作コースの田植え

稲作コースより

稲作コースファンのみなさん、お待たせしました！今年の米づくりもいよいよスタートです。

最初の行事は「稲の種まき」。機械の力も借りて、せっせと稲の苗箱をつくり、チェックし、慎重に並べて…と、地味だけど大変な作業です。今回はひとつぶ、ひとつぶ手作業で種を蒔いて、「マイ苗箱」作りにも挑戦しました。あいにくの雨のなかでしたが、みんなで力を合わせてこの日の目標の1,040箱を作ることができました。このあとは苗代に苗箱をならべて、1か月後の田植えにむけて、苗が大きくなるのを待ちます。

次回は6/17の田植えです。田んぼに稲が植わっているのは1年のうちたった4か月くらい。でもこの4か月間は暑く、雨も多く、そんななか田んぼに水は溜まっているか、ヒエ（雑草）は伸びていないか、鴨は元気か…と、10月の稲刈りまで心配事や手入れがもりだくさん、大忙しです。6月～8月は稲作コースの行事もたくさんなので、おいしいお米ができるよう、ぜひたくさん田んぼにいらしてくださいね！（原愛子）

◆5月13日（日）稲の種まき

参加者：会員20名、一般6名、WC5名、
スタッフ6名、計37名

場所：四季菜館



田植えの準備ばっちり！



ひとつぶ
ひとつぶ…

農家の声

「エー！ウソやろ！雪が降ってきたばい！」今年、忘れもせん、4月8日の出来事でしたネ！すべての新芽が一夜にして真っ黒に焦げたような状態に一。特に茶農家は深刻なこ とだと思えます。もちろん、我が家も収穫減…。こういう時こそ、茶工場単位でもいいので六次産業化を実現していたならば、また違った方向性を見出すことができたのでは一と案じている所存です。

結婚して42年、初めての出来事がもう一つ。我が家のブロッコリー（40a）が低温障害でほとんど出荷不可能でした。ショック！あ、それから、こんな風邪はひいたことがない…というような風邪をひいてしまいました。これもショックでした。亜熱帯気味に確実に推移する昨今、雨が降るたびに2012年7月の大水害が脳裏を横切ります！世界中、どこで異常が発生しても異常でない日常になるのかな一と考えさせられます！人間がもたらした温暖化解決策は、やはり人によって解決するしかないようです！

さて、我が家も夏野菜の定植がほぼ終わり、田植えの準備も並行しながら、もうすぐ第一発目のアイガモのヒナがかえ孵る時期！ヒナガモハウスにヒナガモが入れば、更に神経を注ぎますが、あの

卵からかえ孵るときの愛くるしいくちばし！ぜひ一度、見に来んですか？身体中のストレスが鳥の羽よりも軽くなって飛び立ってしまうような気がします！

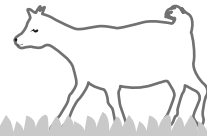
そして私事ではありますが、年齢とともに（特に60歳を過ぎてから）身体の衰えを日々感じながら思うことは、まず足腰を鍛えておくこと！そして、認知症、介護予防はもちろん、とにかく健康寿命を延ばすためには、ゆるぎない努力は不可欠！目標として80歳を過ぎましたら、教養は「今日、用がある」、教育は「今日、行く所がある！」（見る、聞く、書く、話す、作る、動く）これしかなかです！自分に沿った健康法を見つけましょうネ！



3週間続けて日曜日の孫たちの運動会に
大はしゃぎした

四季菜館 椿原 まり子

山林コースより



夏も近づくと八十八夜～。ゴールデンウィークはお茶摘みの季節！毎年恒例「お茶つみ」ミニワークでは、“八女茶発祥の地”ならではの茶づくりを行いました。

昔ながらの“在来茶”のお茶園で、お茶を手摘みしたあとは、これまた昔ながらの釜を使った、ほとんど手作業でのお茶づくりに挑戦！お茶を手で摘むのも、釜で炒るのも、手で揉むのも、時間がかかってとっても大変です。そうしてみんなで摘んだ14kgのお茶の葉は、2日間かけて2.8kgのお茶になりました。昔のお茶は貴重品だったというのも納得です。ほろ苦くて味わい深い、おいしいお茶ができました。

今年は寒波の影響もあり、笠原の茶農家さんはいつも以上に苦労しながらお茶摘みを行っています。お茶づくりを体験するとなおさら、お茶のありがたみが増すこの頃です…。笠原の風景といえば、美しい棚田と茶畑。この風景をずっと見続けることができるよう、ぜひお茶をたくさん飲んで楽しんでいただけたらと思います！（原 愛子）



みんなで
もみもみわいわい！

◆5月3日（木）～4日（金）

里山ミニワーク「お茶つみ」

参加者：会員16名、一般10名、WC4名、
スタッフ7名、計37名

場所：えがおの森、宮園家在来茶園



お茶の手摘み



いいお天気に恵まれました！

皆さんお元気ですか。

5/19の山村塾総会では昨年度の報告も無事に終わり、会員みなさんのご協力により本年度がスタートしました。ありがとうございます。

6月に入って、今は茶畑の手入れで剪定等々の仕事、田植えの準備、二番茶摘みの準備で日々忙しくしています。先日は福岡県特産林産（タケノコ、竹、ハゼ、椎茸など）振興会の理事を終えることができほっとした所存です。農業委員の役目は2期・4年目になっています。

我が家の一番茶摘みは5/24に終わりましたが、この春4/8の寒波で、茶の新芽は大きなダメージを受けました。低温障害で新緑がここまで赤茶けてしまうのは初めての経験でした。今年のお茶の全体生産量は減収で、茶価も安いですが、なんとか収穫ができてほっとしています。一方で、お茶づくりをやめる方もいるのではと心配しています。

現在は茶の需要動向も大きく変わってきています。ペットボトル用の下級茶の需要が多く、急須で淹れる高級茶離れが進んでいます。そのペッ

トボトル茶も、最近では飲料水やコーヒーに押されているようです。茶の値段が下がっており、生産者の中で、山でのお茶生産の意欲が低下している現状です。摘まないお茶畑も増えてきました。中山間地、山間地の農地の利用が毎年悪くなっているようです。今後の農家の先行きが見えないような思いがしています。これから日本人は何を食べていくんだろう？と思う日々です。

一方、山村塾では今年から自伐林家育成研修など新しい事業に取り組みます。忙しくなると思います。ではまた。



お茶を
淹れましょう！

山林コース 宮園 福夫

～新スタッフ紹介～

ファン ポウエイ
黄 柏璋 です！

はじめまして、黄 柏璋（ファン ポウエイ）と申します。4月から山村塾のスタッフになりました。

私は台湾南部の台南出身です。台湾の大学で生物学部を卒業し、地域創生に関する事業に携わっていました。自分の勉強不足が分かり、日本に留学し環境デザインを学びました。

私は高校生の時、生き物の素晴らしさに触れ、大学ではDNAから生態系までののちに関することを広く学びました。生物と環境は密接に関っている事を知り、そのつながりに興味を持ちました。

平成27年の10月、環境デザインを学ぶために九州大学大学院に留学し、研究室のつながりで山村塾と笠原に出会いました。大学院では、笠原の景観と生き物はどのような関係で繋がっているのかということテーマに研究を展開しました。笠原には絶滅危惧種のカヤネズミが多く生息しています。カヤネズミは人間の居場所を避けるのではなく、田んぼなどの農地に定住します。その理由を解明するため、2年間笠原に通い、河川敷や田畑を調査しました。生物と環境の繋がりはまだ様々未知なことがあり、今後も働きながら観察を行おうと思います。

また、大学院での2年半の間、笠原をはじめ朝倉の黒川地区、熊本の西原村、南阿蘇村、山都町などの美しい農山村に通いました。農山村は自然が豊かですが、自然だけで風景が作られるのではありません。農山村に暮らす人々の生活と繋がりが、独特な里山景観ができていくのだと思います。しかし、農山村に暮らす人は減ってきており、それに伴い産業も景観も自然環境も変わってきます。これからの農山村はどうなるのか、生活形態はどう変わるのかをここで実践的に働きながら見ていきたいです。

笠原は山の奥に田畑、集落、山林が分布しており、住民は季節の変化に応じ、自然とともに暮らしています。山村塾はえがおの森を拠点にし、福岡や関東などの地域のみならず、ヨーロッパやアジアなどの



海外の地域とも連携しながら、農林業のプログラムを基礎とし、芸術、緑地保全、教育などの領域で広く活動しています。豊かな自然を持つ笠原と、外部とのつながりが強い山村塾は、新たな農山村のライフスタイルの一例になると思いました。そのため、山村塾で働き学びたいと希望しました。

台湾で仕事していた時、台湾でも地域の過疎化が深刻な問題でした。地域の誇りや愛着を高めるため、様々な施策を行いました。その中でも、地域の魅力や資源などを探し、伝えるのが最も良い手法だと思いました。しかし地元の人にとって、見慣れた景色や日常生活の中で、地域の魅力、特色、よその人を驚かせるような風景を発見することは難しいです。そのため、外部との交流は、地域の新たな価値を掘り起こすきっかけとなる大事な事だと思います。これから私は、山村塾で国際ボランティアの担当になります。様々な人と出会い、色々なアイデアを生み出したいと思います。

海に囲まれ、山地が高く多日本と台湾は独自のライフスタイルを持っています。また、過疎化、再造林放棄、耕作放棄地の増加などの問題に同じく直面しています。そのため、お互い参考となるような解決策を持っていると思います。例えば福岡県は森林の手入れのため、森林環境税を徴収しています。台湾の先住民集落は、伝統的な生活文化を守り伝えるため、「獵人学校」（獵師学校）を運営しています。両者はそれぞれの背景をもとに、異なる取り組みで未来像を描いています。私は日本と台湾のそれぞれの素晴らしさを取り上げ、お互いの交流が広がるよう、邁進したいと思います。

簡単な自己紹介ですが、またきっかけがあれば、ぜひ皆さんとお話ししたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

その他の活動報告

～4月～

- 4/15（日）全体行事「顔見せ会・山菜とり」
参加者 67名（会員 44、一般 10、スタッフ 13）
場所：えがおの森、ケヤキ林

～5月～

- 5/6（日）グリーンウッドワーク体験会@鴻巣山
参加者 27名（一般 24、スタッフ 3）
- 5/19（土）第5回通常総会@四季菜館
参加者 17名（会員 16、一般 1）
- 5/26（土）～27（日）里山ミニワーク「棚田の草刈り」
参加者 15名（会員 4、一般 1、WC5、スタッフ 5）
場所：四季菜館、笠原の棚田

総会へのご参加ありがとうございました！

今年の総会は17名の出席を頂き、議案全て無事承認されました。当日ご出席頂けなかった方は、ぜひ総会資料をご一読下さい。文字と数字がびっしりですが、普段ご報告する機会のない、イベント以外の事業報告等も載せており、山村塾の現状を知って頂く事ができる資料となっています。



山村塾ニュース

◆夏の里山 80 日ボランティアが始まりました！

4/28 から 80 日間のワークキャンプが始まりました！(7/16 まで)。棚田の草刈り作業を中心に、後半からは棚田での米作りやラッキョウ漬けづくりにも取り組みます。梅雨のなか大変な仕事が多いですが、毎日にぎやかにがんばっています！



5名のフレッシュなメンバーです！

◆奥八女芸農ワークキャンプ参加者募集中！

この夏 8/24 ~ 9/20 の 4 週間、「半農×半アート」をテーマにワークキャンプを開催します！農作業をしながら、アーティストとともに作品を作り上げていくという、地域×農×芸術を組み合わせた活動です。参加者募集中！詳細は山村塾HPをご覧ください。

笠原やぎクラブだより

笠原やぎクラブの輪が広がっています。

ヤギの"ボンボン"が、このたび朝倉市黒川地区の災害復興ボランティアとして派遣されました。黒川復興プロジェクトのマスコットとしてボランティアや地域の方々と一緒に農地管理を頑張っていたと思います。がんばれボンボン！



特別コラム

山村塾の思い出 山下 慧

こんにちは、山下慧です。お元気でしょうか？私は元気です。東京の実家で毎日笠原のお米を食べて幸せをかみしめています。今回は山村塾での思い出ということで少しお話をさせていただきます。

私が山村塾に来たのは 2015 年の 4 月 1 日でした。その時期はまだ黒木は肌寒く、春の陽気ではありませんでした。えがおの森に住むようになって、その寒さになかなか慣れなかったです。ただ、福夫さんの所での玉露ネット張りや肥料振りを手伝ったり、寿之さんの所でお茶の袋詰めやシール貼りをしたりして、色々な人から「人の温かさ」をいただいていたように思います。ご飯もおいしかったですし、そういった事で笠原を好きになったのだと思います。

しかしながら入りたての頃、1 年のなかで一番忙しい「お茶摘み」の時期。とても私がついていける訳もなく、その年の 8 月には農作業の手伝いを一旦止めました。

秋頃からは薪割りと薪積みを始め、えがおの森での掃除機がけなども行うようになっていました。真里さんとらっきょうの袋詰めを行ったり、松尾さん

3 年間の研修を終えて、3 月に山村塾を卒業した山下慧くんより、お便りをいただきました。



思い出の 3 人組

の家に稲刈りや絹代さんの実家を片付けに行ったりしながら、気づくと「何も出来ない」と嘆いていた自分はそこにいませんでした。遅すぎですが、自分の出来る範囲を知り、その中で一生懸命それをこなす事で、範囲は自然と広がると気づいたのは 3 年目でした。

石の上にも 3 年ではないですが、少し我慢強くなり、成長したのではと思います。それは、地域の方々や山村塾の皆様の支えや応援があったからだと強く思います。そして、今の私の活力になっています。

今、「就職」を目指して福祉団体で就労移行を行っています。色々落ち着いたなら笠原にまた行きたいと思っています。その時はまたよろしく願います。

事務局より



特例認定 NPO 法人山村塾 会員募集!

●会員の種類は、総会での議決権を持つ正会員と議決権を持たない賛助会員の2種類です(どちらも個人5,000円、団体10,000円)。

●いっしょに田んぼや山で働く、活動コース(稲作・山林、稲作、山林、古里)の加入をお待ちしております!

ご寄付のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄付で支えられています。ご協力のほどよろしくお願いたします。

<ヤマヤマ基金>農山村の環境を守る活動全般に役立てられます。

<平成29年豪雨支援>山村塾では寄付を活用し、朝倉市黒川地区の復興を支援します。

■郵便振込口座から

加入者名: 特定非営利活動法人山村塾

口座番号: 01790-3-169398

※通信欄にどちらのへのご寄付かご記入下さい。

■銀行から

銀行名: ゆうちょ銀行 店名: 一七九(店番: 179)

口座: 当座 0169398

※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレス、寄付先をお知らせ下さい。

■農産物を買う: 会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

◎年会費納入 以下の方々から年会費を納入いただきました。ありがとうございます。(5/31入金まで。敬称略)

■正会員: 木村陽子(稲作山林)、中村淳(稲作山林)、森永哲夫(稲作山林)、森山正(稲作山林)、石津和紀(稲作)、澤田成行(稲作)、田中久昭(稲作)、本田範隆(稲作)、覚知康博(山林)、福岡翔学館高等学院川原秀之(山林)、社会福祉法人たからばこ(山林)、西村茂(山林)、萩尾孝博(山林)、前蘭良一(山林)、古賀信夫(古里)、静間純(古里)、平島和也(古里)、一般社団法人地域企業連合会九州連携機構会長小早川明徳、宮園福夫、宮園佐津美、澤田俊夫、原愛子、鬼崎一次(山林)

■賛助会員: 小野孝之(稲作)、坂根宗行(稲作)、榊原雅憲(稲作)、長慎也(稲作)、中村佐和子(稲作)、平山和範(稲作)、田中幸代(山林)、田村久美子(山林)、金澤真里、森尾精一(古里)、木村麻美、北島みどり、重松朝子、株式会社乗富鉄工所、瀬崎敏博、豊国寛隆、仁田原勇司、望田敬子、森順子、山下慧、油機エンジニアリング株式会社、吉田博幸

◎寄付者 以下の方々から頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。(5/31入金まで。敬称略)

■ヤマヤマ基金: 下田誠也、大橋幸太郎、平島和也、榊原雅憲、小野孝之、静間純、森永哲夫、宮園信一朗、たいら由以子、瀬崎敏博、黄文忠、宮副賢治、中村淳、豊国義道、中島澄子、毛利宗孝、川原秀之、望田敬子、山下直子、小柳友博、萩尾孝弘、久津輪勝男、西村茂、原愛子、原豊和、木村英佳、背川歌子、沢田モーターズ、覚知康博、鳴滝隆史、重松朝子、鬼崎一次、松雪清人、森順子、山田朋信、豊国寛隆

■笠原復興基金: かつてに林業を応援する会

■平成29年豪雨支援: 小野孝之、瀬崎敏博、永尾真治、望田敬子、石津和紀、松雪清人

今後の予定

日程	行事名
6/17(日)	稲作コース「田植え」
6/24(日)	稲作コース「鴨進水式」
7/8(日)	山林コース「下草刈り①」
7/15(日)	稲作コース「田の草取り」
7/29(日)	山林コース「下草刈り②」
8/3(金)～5(日)	山村塾子どもキャンプ
8/18(土)～19(日)	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
8/26(日)	稲作コース「鴨の引き上げ」

【参加費について】

行事は活動コース会員は無料、一般は4歳以上1,000円。ミニワークおよびその他イベントはホームページ、Facebook、チラシ等で詳細をお知らせしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

【お申込み】

どのイベントも、どなたでも参加頂けます(一部年齢制限あり)。事前申し込み制です。事務局までメール、電話、FAXでお申込みください。

【基本の持ち物】

作業着(長袖、長ズボン※ハチ対策として黒っぽい服はさける)、作業靴、軍手、着替え、タオル、帽子。
※雨天決行です。雨天の場合は合羽、長靴。
※宿泊を伴うものは、着替え、洗面道具をお持ちください。(シャンプー、リンス、せっけん等は備え付けがあります)

山村塾フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/sansonjuku>

山村塾のフェイスブックページです。「いいね!」を押してご参加ください。近況報告や行事の紹介、スタッフのつぶやきなどを発信しています。

★古本で寄付ができるようになりました!

ご自宅に眠っている本やDVD等を「古本寄付きしゃぼん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いいたします。※詳細はチラシをご覧ください。



山村塾 特例認定 NPO 法人 山村塾

〒834-1222

福岡県八女市黒木町笠原 9836-1 えがおの森内

TEL・FAX 0943-42-4300

事務局携帯 080-8562-4558

Email: info@sansonjuku.com HP <http://sansonjuku.com>

FB <https://www.facebook.com/sansonjuku>

理事長: 宮園 福夫 事務局長: 小森 耕太